

## 2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ビックカメラ  
 コード番号 3048 URL <https://www.biccamera.co.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 一義  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 安部 徹 TEL 03-3987-8785  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年9月1日～2021年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	636,434	2.5	16,162	102.5	18,418	84.9	8,780	126.4
2020年8月期第3四半期	621,163	△7.3	7,982	△55.7	9,963	△50.8	3,877	△67.3

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 11,639百万円 (91.6%) 2020年8月期第3四半期 6,075百万円 (△51.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	49.90	49.87
2020年8月期第3四半期	22.04	22.03

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	473,054	179,053	30.5
2020年8月期	472,074	169,791	29.0

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 144,505百万円 2020年8月期 137,078百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	10.00	—	3.00	13.00
2021年8月期	—	5.00	—		
2021年8月期(予想)				10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	866,000	2.1	17,700	46.7	20,500	39.5	10,200	87.1	57.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期3Q	188,146,304 株	2020年8月期	188,146,304 株
② 期末自己株式数	2021年8月期3Q	12,207,800 株	2020年8月期	12,211,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期3Q	175,937,273 株	2020年8月期3Q	175,933,905 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	10
3. 補足情報 .....	11
生産、受注及び販売の実績 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年9月1日から2021年5月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下「本感染症」という)の影響により厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増しております。本感染症の影響により個人消費や雇用情勢は弱い動きとなっております。企業収益は一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直しております。

当家電小売業界における売上は、当第3四半期連結累計期間ではスマートフォン、パソコン周辺機器やゲームのほか、加湿器や空気清浄機が牽引した季節家電が好調だったことに加え、テレビや洗濯機等が堅調に推移いたしました。一方、前年にOS(Windows7)のサポート終了に伴う駆け込み需要等が生じていたパソコンやデジタルカメラ等が低調であったものの、総じて堅調に推移いたしました。

こうした状況下にあつて、サステナビリティ経営を推進し、企業が社会に存在する意義であるパーパスを「お客様の購買代理人としてくらしにお役に立つくらし応援企業であること」として定め、「専門性と先進性で、より豊かな生活を提案する、進化し続けるこだわりの専門店の集合体」を目指し、お客様の購買代理人として、独自性のあるプライベートブランド商品の開発や目利きの効いた商材の調達や新規サービス・新規事業の開拓等による「商品力」の強化、接客力と商品知識を基盤にした「人の力」とお客様目線の売場づくりといった「場の力」に集約される「販売力」の強化に取り組んでおります。また、現場業務の効率化・短時間化、人材育成、組織活性化等による生産性の向上にも取り組んでおります。

本感染症による当社グループへの影響につきましては、本感染症拡大防止を重視する観点から実施していた営業時間の短縮を、緊急事態宣言の再発出に伴い一層強化したほか、一部店舗(Air BicCameraの一部)では臨時休業を継続しております。営業にあたっては、お客様と従業員の安全確保を最優先に考え、マスク着用、丁寧な手洗い・消毒、従業員の出勤時の検温、店内消毒、レジ・カウンター等への飛沫感染防止シート設置、ソーシャルディスタンスの確保などの対策を継続して実施しております。ビックカメラにおきましては、都心の昼間人口減少にインバウンドの激減が重なり実店舗の販売は低迷いたしました。インターネット通販事業は、販売を大きく伸ばしたものの実店舗の低迷を補うには至りませんでした。一方、都市近郊を中心に事業を行うコジマにおきましては、テレワークなどによる商圏内の昼間人口増加などを背景に販売を伸ばしました。

店舗展開におきましては、2021年3月5日に「ビックカメラ アミュプラザくまもと店」(熊本県熊本市)を開店いたしました。また、スマートフォンやパソコンといったApple製品の販売や修理・サポートを行うApple専門店として、2020年9月14日に「Bic Style ららぽーと愛知東郷店」(愛知県愛知郡東郷町)、2021年1月28日に「Bic Style イオンモール松本店」(長野県松本市)を開店いたしました。

グループ会社におきましては、株式会社コジマが、2020年11月21日に「コジマ×ビックカメラ イオンタウンふじみ野店」(埼玉県ふじみ野市)、2021年3月27日に「コジマ×ビックカメラ イオンタウン茨木太田店」(大阪府茨木市)を開店したほか、2021年7月2日に「コジマ×ビックカメラ イオンモール新利府北館店」(宮城県宮城郡利府町)を開店いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,364億34百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益は161億62百万円(前年同期比102.5%増)、経常利益は184億18百万円(前年同期比84.9%増)、税金等調整前四半期純利益は177億8百万円(前年同期比97.3%増)となりました。法人税等合計が61億27百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益が28億1百万円となったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は87億80百万円(前年同期比126.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の単一セグメントから「物品販売事業」「BSデジタル放送事業」の2区分に変更しております。当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」をご参照下さい。

#### (物品販売事業)

売上高は6,268億73百万円(前年同期比2.4%増)、経常利益は162億9百万円(前年同期比98.8%増)となりました。

#### (BSデジタル放送事業)

売上高は83億49百万円(前年同期比3.5%増)、経常利益は20億73百万円(前年同期比23.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億79百万円増加(前連結会計年度末比0.2%増)し、4,730億54百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少110億22百万円があったものの、売掛金の増加34億70百万円、商品及び製品の増加94億21百万円、のれんの増加32億3百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ82億82百万円減少(前連結会計年度末比2.7%減)し、2,940億円となりました。主な要因は、短期借入金の増加242億8百万円があったものの、買掛金の減少83億92百万円、長期借入金の減少210億92百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ92億62百万円増加(前連結会計年度末比5.5%増)し、1,790億53百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当(純資産の減少)14億7百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益(純資産の増加)87億80百万円、非支配株主持分の増加(純資産の増加)17億85百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の通期の連結業績予想につきましては、2021年4月5日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」の数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	117,211	106,189
売掛金	40,986	44,456
商品及び製品	100,925	110,347
原材料及び貯蔵品	649	584
番組勘定	123	153
その他	14,188	13,021
貸倒引当金	△274	△257
流動資産合計	273,809	274,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	29,314	28,878
土地	46,983	46,984
その他 (純額)	14,076	12,232
有形固定資産合計	90,374	88,094
無形固定資産		
のれん	3,240	6,444
その他	22,139	23,841
無形固定資産合計	25,379	30,285
投資その他の資産		
差入保証金	41,731	41,541
その他	41,156	38,967
貸倒引当金	△376	△330
投資その他の資産合計	82,510	80,178
固定資産合計	198,265	198,558
資産合計	472,074	473,054

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	58,301	49,908
短期借入金	32,176	56,384
1年内償還予定の社債	200	200
1年内返済予定の長期借入金	21,477	24,711
未払法人税等	3,143	3,722
賞与引当金	3,241	5,270
ポイント引当金	13,159	12,739
店舗閉鎖損失引当金	278	259
資産除去債務	341	105
その他	41,636	33,350
流動負債合計	173,957	186,652
固定負債		
社債	800	600
長期借入金	93,959	72,866
商品保証引当金	592	471
店舗閉鎖損失引当金	467	446
退職給付に係る負債	17,201	18,055
資産除去債務	9,285	9,446
その他	6,019	5,460
固定負債合計	128,326	107,347
負債合計	302,283	294,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,929	25,929
資本剰余金	27,140	27,103
利益剰余金	98,630	106,001
自己株式	△16,734	△16,729
株主資本合計	134,965	142,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,616	2,436
退職給付に係る調整累計額	△503	△236
その他の包括利益累計額合計	2,112	2,199
新株予約権	88	137
非支配株主持分	32,624	34,410
純資産合計	169,791	179,053
負債純資産合計	472,074	473,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
売上高	621,163	636,434
売上原価	451,961	455,708
売上総利益	169,202	180,726
販売費及び一般管理費	161,220	164,564
営業利益	7,982	16,162
営業外収益		
受取利息	46	34
受取配当金	108	76
持分法による投資利益	—	220
受取手数料	1,058	1,055
その他	1,097	1,414
営業外収益合計	2,312	2,801
営業外費用		
支払利息	200	240
貸貸収入原価	40	123
その他	89	182
営業外費用合計	330	545
経常利益	9,963	18,418
特別利益		
固定資産売却益	6	7
助成金収入	340	—
特別利益合計	346	7
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	87	101
投資有価証券売却損	11	15
災害による損失	—	285
臨時休業による損失	1,159	218
その他	76	95
特別損失合計	1,335	716
税金等調整前四半期純利益	8,974	17,708
法人税、住民税及び事業税	2,757	5,266
法人税等調整額	639	860
法人税等合計	3,396	6,127
四半期純利益	5,578	11,581
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,700	2,801
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,877	8,780

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	5,578	11,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	236	△179
退職給付に係る調整額	260	238
その他の包括利益合計	497	58
四半期包括利益	6,075	11,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,399	8,867
非支配株主に係る四半期包括利益	1,676	2,772

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

1. 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、株式会社WILBYを連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間より、アロージャパン株式会社は、株式会社ラネット(連結子会社)が2021年2月1日に株式を取得し、子会社となったため、連結の範囲に含めております。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、株式会社ビックカメラ楽天及び楽天ビック株式会社の2社を持分法適用の範囲に含めております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症(以下「本感染症」という)の拡大を受け、政府により発令された緊急事態宣言は本四半期決算短信公表日現在で、沖縄県を除き解除されておりますが、当社グループにおいて、本感染症拡大防止を重視する観点から実施した営業時間の短縮やインバウンドの激減等により都市部の店舗の販売が低迷する等の影響が発生いたしました。

本感染症について、収束時期や再拡大の可能性等を正確に予測することは困難ではありますが、外部情報等を踏まえ、少なくとも2022年8月期中は都市部の店舗を中心に売上高への影響を受けるなどの仮定を置き、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

なお、本感染症の経営環境への影響は不確定な状況にあり、状況が変化した場合には、当社グループの財政状態及び経営成績等に重要な影響を与える可能性があります。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結財務諸表 計上額 (注2)
	物品販売 事業	BSデジタル 放送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	611,864	7,991	619,856	1,307	621,163	—	621,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	75	131	1	132	△132	—
計	611,920	8,067	619,987	1,308	621,296	△132	621,163
セグメント利益	8,152	1,675	9,828	135	9,963	—	9,963

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結財務諸表 計上額 (注2)
	物品販売 事業	BSデジタル 放送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	626,828	8,282	635,111	1,323	636,434	—	636,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	66	111	0	112	△112	—
計	626,873	8,349	635,222	1,324	636,546	△112	636,434
セグメント利益	16,209	2,073	18,283	134	18,418	—	18,418

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ケーブルテレビ事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間における重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、「物品販売事業」以外に重要なセグメントが無かったため、セグメント情報の記載を省略しておりましたが、「BSデジタル放送事業」について量的な重要性が増したことから、前連結会計年度より報告セグメントを「物品販売事業」及び「BSデジタル放送事業」の区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. 補足情報

#### 生産、受注及び販売の実績

##### セグメント別売上高

セグメントの名称及び品目		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)		
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比増減率 (%)
音響映像商品	カメラ	17,558	2.8	△11.7
	テレビ	37,727	5.9	11.9
	レコーダー・ビデオカメラ	10,820	1.7	△4.4
	オーディオ	9,424	1.5	△11.0
	その他	22,223	3.5	△6.7
	小計	97,753	15.4	△1.6
家庭電化商品	冷蔵庫	30,683	4.8	6.8
	洗濯機	31,423	4.9	11.4
	調理家電	26,966	4.2	△2.4
	季節家電	47,757	7.5	30.6
	理美容家電	27,800	4.4	0.9
	その他	39,319	6.2	△2.7
	小計	203,950	32.0	7.9
情報通信機器 商品	パソコン本体	62,633	9.8	△2.8
	パソコン周辺機器	24,283	3.8	11.9
	携帯電話	85,255	13.4	13.9
	その他	42,428	6.7	0.5
	小計	214,600	33.7	5.6
その他の商品	ゲーム	36,334	5.7	18.2
	時計	8,573	1.3	△32.3
	中古パソコン等	7,614	1.2	2.3
	スポーツ用品	7,250	1.1	△4.1
	玩具	8,746	1.4	△10.8
	メガネ・コンタクト	3,270	0.5	△19.3
	酒類・飲食物	4,529	0.7	△15.5
	医薬品・日用雑貨	6,591	1.1	△43.5
	その他	27,614	4.4	△10.8
	小計	110,523	17.4	△8.1
物品販売事業		626,828	98.5	2.4
BSデジタル放送事業		8,282	1.3	3.6
その他の事業		1,323	0.2	1.2
合計		636,434	100.0	2.5

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。